

令和8年9月1日

件名 高崎の獅子舞が集結！「第5回獅子舞大会」を開催します。

一人立ち三頭獅子舞の組数において関東一の獅子組の数を誇る、高崎市の貴重な伝統民俗芸能である獅子舞の保存活動を助長し、特色ある地域の活動を次世代へ継承することを目的に開催します。

獅子舞は、悪霊退散、五穀豊穰など地域の安全と平和を願って舞われ、先祖の祈りとともに歴史と伝統を積み重ねてきた伝統芸能であり、存続の危機を乗り越えて今日に伝えられています。

現在、高崎市には37団体の獅子組があり、各地域において保存継承活動を行っています。今回の獅子舞大会では9団体の獅子組が演舞いたします。多くの市民の皆さまにご観覧いただき、特色ある演舞を楽しんでいただくとともに、民俗芸能の貴重さと保存の意義を知っていただきたいと思います。

本大会は、平成25年度から3年毎に開催しており、今回が5回目の大会となります。

記

- | | |
|--------|---|
| 1. 名 称 | 第5回獅子舞大会 |
| 2. 内 容 | 高崎市内の獅子舞保存会37団体のうち、9団体がそれぞれの地域において伝承されてきた獅子舞を披露します。 |
| 3. 日 時 | 9月6日（日）10：30～16：20 |
| 4. 会 場 | 榛名文化会館（高崎市上里見町1072番地1） |
| 5. 主 催 | 獅子舞大会実行委員会（実行委員長 代田 晴善） |
| 6. 共 催 | 高崎市・高崎市獅子舞保存会連絡協議会 |
| 7. 後 援 | （公財）群馬県教育文化事業団 高崎市教育委員会 |

詳細等については別添プログラムをご参照ください。

【本件に関する問い合わせ】

総務部文化課

電話：027-321-1203

最も古い伝統民俗芸能

一人立ち三頭獅子舞 関東一の獅子組を持つ高崎市

第5回

獅子舞大会

午前の部

生原北野神社獅子舞保存会
阿久津町獅子舞保存会
宮谷戸獅子舞保存会

午後の部

東明屋諏訪神社獅子舞保存会
石原町清水獅子舞保存会
金古諏訪土俵獅子舞保存会
保渡田諏訪神社獅子舞保存会
飯塚獅子舞保存会
川浦獅子舞保存会



令和8年

9月6日[日]

午前10時30分開演

榛名文化会館〈エコール〉

入場無料

豪華景品が当たる!!
お楽しみ抽選会を実施

主催 獅子舞大会実行委員会

共催 高崎市

高崎市獅子舞保存会連絡協議会

後援 (公財)群馬県教育文化事業団

高崎市教育委員会

問い合わせ先

高崎市文化課 電話 027(321)1203



獅子舞ひや花の下影濃きところ

村上鬼城

大正10年3月、並榎獅子舞が明治神宮に獅子舞奉納のさい、旧高崎藩主、大河内爵邸にて演舞。

開催の趣旨

獅子舞は最も古くから伝わる民俗芸能であり、そのうち「1人立ち3頭獅子舞」は、関東地方を中心に東北の一部を含めた東日本に分布し、中でも群馬県、埼玉県、東京都に多く伝わっています。その成立は明らかではありませんが、日本固有の民俗芸能といわれています。室町・江戸時代に盛んとなり、最盛期には、その数、千を超えたといわれています。

群馬県獅子舞保存会が昭和58年に調査・発行した「群馬の獅子舞」では、264組の獅子舞が末尾別表に記載されていますが、本文にその活動状況が紹介されているのは126組(47%)だけです。最近では、群馬県教育文化事業団の「ぐんま地域文化マップ」に合計199組の獅子舞が報告されています。このように、獅子舞の数も減少が見られ、貴重な民俗芸能である「1人立ち3頭獅子舞」も、その存続が困難になっているのが現状であります。高崎市では、合併前の旧市内の19組に、平成18年、21年の6町村合併により新町1組、倉渕、箕郷各2組、群馬4組、榛名5組、吉井5組の獅子組が加わり、従来以上に県内及び関東における獅子舞中心地としての比重が大きくなりました。現在、高崎市獅子舞保存会連絡協議会に加盟している37組のうち、約70%が活動を継続しており、各地域での定期上演のほか、高崎市制の周年における祝賀と獅子舞の保存継承を目的に獅子舞大会を開催し意欲的に活動してまいりました。今回は平成25年・28年・令和元年・3年開催の獅子舞大会に続き、高崎市の獅子舞の確固たる保存継承を願い開催しようと計画するものであり、獅子舞存続のため、極めて有意義なことであります。

獅子舞は悪疫退散、五穀豊穰など村落共同体の平和と安全を願って舞われ、先祖の祈りと共に歴史と伝統を重ねてきた伝統芸能であり、存続の危機を乗り越えて今日に伝えられています。これを後世に伝えることは私達の大きな責任であり、新しい文化の創造と共に、古い民俗芸能をしっかりと継承することは極めて重要なことと考えられます。以上の趣旨によって、今回の獅子舞大会を開催するものであります。

ごあいさつ

高崎市長 富岡 賢治



夏の名残を感じる力強い陽光のもと、榛名文化会館において「第5回獅子舞大会」が盛大に開催できますことは誠に喜ばしく、開催にあたりご尽力をいただきました出演団体の皆様をはじめ、関係者の皆様に心から厚く御礼申し上げます。

「一人立ち三頭獅子舞」の組数において関東一を誇る本市では、獅子舞は各地域や町内において年長者から青年、そして子どもたちへと大切に伝授されてまいりました。各保存会の獅子舞は数百年の歴史を誇り、その高い価値から、現在19件が「高崎市指定重要無形民俗文化財」に指定されています。

獅子舞は、悪疫退散や五穀豊穡など、先人たちの平和や豊穡を願う心を伝える「地域の宝」として受け継がれてきました。昨今の変化の激しい社会情勢や困難な状況にあっても、力強く演舞を継承されている獅子組が、高崎には数多く存在します。

本市といたしましても、保存会の皆様と志をひとつにし、獅子舞をはじめとする伝統民俗芸能を絶やすことなく、また、それらを通じて地域の絆がより一層深まるよう引き続き支援してまいりたいと考えております。

その一環として、本市では伝統文化の継承と更なる発展を目指し、昨年度「高崎伝統文化の館」を整備いたしました。市内の文化団体の活動の場、また、若者が気軽に本物の伝統文化を体験できる場として皆様に活用していただければ幸いです。

ご来場の皆様におかれましては、各保存会の特色ある演舞を存分にお楽しみいただくとともに、伝統の保存継承活動へなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、各地域の獅子組の益々のご発展と、ご来場の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、ご挨拶いたします。

ごあいさつ

獅子舞大会実行委員長・高崎市獅子舞保存会連絡協議会長 代田 晴善



第5回獅子舞大会の開催にあたり、ご関係いただきました各機関ならびに出演される保存会の皆様方に心より感謝申し上げます。

現在、高崎市獅子舞保存会連絡協議会に加盟する保存会は37団体を数えますが、残念ながら後継者不足により活動休止を余儀なくされ、再開が困難となる保存会が増加しているのが実情でございます。

地域に脈々と伝えられてきた伝統芸能である獅子舞を保存継承していくには、たゆまぬ努力と忍耐、そしてなにより地域の皆様のご理解が欠かせません。この貴重な民俗文化財を次の世代へとつないでいくため、今大会にご参加の皆様をはじめ、各保存会の運営に携わる皆様におかれましては、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

出演者の皆様には、日頃の稽古の成果を存分に発揮していただき、本大会を大いに盛り上げていただくことを期待しております。

ご来場いただきました皆様におかれましては、高崎が誇る多種多様な獅子舞をご堪能いただくとともに、今後の保存・継承活動へ変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

プログラム

1 開 会

10:30	あいさつ	獅子舞大会実行委員長	代 田 晴 善
	ク	高崎市長	富 岡 賢 治
	来賓祝辞	高崎市議会議長	長 壁 真 樹

2 演 舞

出演時間	出演獅子組	演目	紹介頁
10:55	生原北野神社獅子舞保存会	飛違い花吸	4
11:20	阿久津町獅子舞保存会	笹掛り	5
11:45	宮谷戸獅子舞保存会	雌獅子かくし	6
12:10	休 憩		
13:00	東明屋諏訪神社獅子舞保存会	フリコミ ほか	7
13:25	石原町清水獅子舞保存会	綱切の舞 ほか	8
13:50	金古諏訪土俵獅子舞保存会	振込み ほか	9
14:15	休 憩		
14:30	保渡田諏訪神社獅子舞保存会	橋 ほか	10
14:55	飯塚獅子舞保存会	大門掛 ほか	11
15:20	川浦獅子舞保存会	御宮巡り ほか	12

3 閉 会

15:45	あいさつ	副実行委員長	石 原 敏 明
15:50	抽選会		
16:20	終演		

おい ばら きた の じん じゃ

生原北野神社獅子舞保存会 〈箕郷町生原〉

会長 斉藤 初男 【稲荷流】



プロフィール

おいばら
生原の獅子舞は、伝承では江戸時代
の中期に創始したと伝えられる。明治の
初年の頃現在の型ができあがった。

流派は近郷に点在する稲荷流で、特徴
として振りが大きく派手やかなことから
「生原の暴れ獅子」と名を馳せてきた。

旧生原村の総鎮守であった北野神社
に属し、神意を慰める神事として、また五穀
豊穡・家内安全を願う行事として連綿と
受け継がれてきた。女人禁制で伝承する
者は地付きの家の長男のみであった。

戦中・戦後一時中断したが、昭和48年
旧箕郷町から無形文化財の指定を受けた
のを機に保存会が発足し、伝統の獅子舞
がよみがえった。

演目

・飛違い花吸

獅子が前後左右にゆるやかに飛び
違いその間に流すと言う優雅な振りが
入ります。これが見せ場となります。

花吸いは満開の桜の周りで獅子達
が踊り戯れるという楽しい舞でござ
います。

出演者

振り子	カンカチ	勝野 恵	福田 智之	
前獅子		角田 大空	丸岡 昇	
中獅子		滝野 雅彦	飯野 富雄	
後獅子		野口 将太郎	星野 みなこ	
		星野 那智	中 隼 将也	
笛		丑丸 幾三	須田 芳夫	後 関 三行
		斉藤 匡之	中 隼 千賀子	星野 幸子
世話人		中 隼 忠久	堀内 貞男	斉藤 初男
		丸岡 哲男		

あくつまち 阿久津町獅子舞保存会 〈阿久津町〉

会長 川鍋 光賢 【稲荷流】



プロフィール

阿久津町の獅子舞は、県内の稲荷流三宗家の一つと言われている。甘楽郡秋畑の那須の獅子舞、利根郡藤原ダムの藤原の獅子舞と阿久津町である。

舞は獅子(前・中・後)3人、カンカチ1人、笛吹き数人その他で構成される。

伝承では大化元年(645)に極上興兵衛が舞をはじめ、それが阿久津に伝えられたものという。

かつては獅子舞の由来を示す古文書があったが、明治43年(1910)に大洪水にあい流出した。

昭和7年に由来書を筆写したといわれる「神代獅子由来」という変体仮名まじりの巻物が伝わっている。

阿久津町の獅子舞は、平成23年、高崎市指定重要無形民俗文化財に指定された。

演目

「笹掛り」

- ・ 道切り(橋掛り)
- ・ 振込み(花岡崎)
- ・ 本庭(笹掛り)
- ・ 歌切り(獅子拍子)
- ・ おいとま
- ・ 道切り

2020年以降、コロナ禍により後継者不足が課題になっています。

会員募集は、男女関係なく、南八幡地区に呼びかけています。

久しぶりに、「橋掛り」と「笹掛り」の演目を実施することにしました。

振る機会の多い「ぼんでん」以外の演目も残したいと思います。

出演者

師匠	笠原 和男	山口 来		
振指導者	小池 雅樹	金井 忠光		
カンカチ	福島 陵河	松田 琴珀		
獅子	小池 雅樹 笠原 森羅	金井 忠光 山口 一颯	櫻井 澄羽 熊倉 泰	
笛指導者	菊地 真弓	小池 啓子	本多 めぐみ	
笛	本多 彩純	熊倉 幸子	松田 奈那	
顧問	大山 寛樹			
世話人	山口 澄 小池 晴美 櫻井 仁美	小池 秀喜 鶴田 美裕貴 福島 瑞穂	小池 清樹 金井 美恵	

みやがいと 宮谷戸獅子舞保存会〈下室田町〉

会長 大澤 隆太郎 【判官流】



プロフィール

宮谷戸獅子舞は、戦国時代の永禄年間に武田信玄が上州を平定し、民心収らんの為、武田氏の氏神である諏訪神社を移し祀らせ、獅子舞を奉納させたのが始まりと言われております。

村の中央に諏訪神社、八幡宮、秋葉宮が鎮座し、村の東の守り神として稻荷神社、西の守り神として天狗様と、五社ありそれぞれの庭の舞あり、28通りの舞と10曲の道拍子が伝承されております。近年は村内巡行は行わず、諏訪神社境内にて毎年11月の第一日曜日の昼間に演舞しておりますのでお出掛け下さい。

演目

・雌獅子かくし

舞の最初は皆さんで楽しく遊んでいますが、一方の雄獅子が雌獅子をかくしてしまい、かくされたことに気づき争いが始まり勝ったり負けたり。

その都度、「きつね」が敗けて倒れた雄獅子を癒し蘇生させ、仲直しし再び皆さんで楽しく遊ぶ。こんなストーリーになっています。

出演者

鬼(棒使い)	小倉 道雄	金沢 佳吾		
ささら	大澤 秀樹	清水 忠晴		
大黒	小倉 雄次			
かんかち	萩原 遼太			
前獅子	岡本 倫明			
中獅子	岡田 華桜			
後獅子	萩原 大智			
笛	萩原 和之	大澤 豊弘	大澤 光輝	
	小倉 香菜子	小池 優衣	金沢 明里	
ほろ	萩原 勝	岡田 悟	大澤 佳典	
語り	大澤 隆太郎			
区長三役	反保 清	江原 修一	岡本 朗	
世話人	小倉 雄次	小倉 道雄		
	清水 実夫	清水 忠晴	清水 立郎	

東明屋諏訪神社獅子舞保存会 〈箕郷町〉

会長 石原 敏明 【宝生流】



プロフィール

永禄九年(1566年)に武田信玄が箕輪城主の長野氏を滅ぼし、箕輪城を治め、武田氏の守護神である諏訪神社を建立して神事芸能として獅子舞を奉納させたのが始まりと伝えられている。一人立ち三匹獅子舞で、流派は能を起源とする宝生流である。三頭の獅子、カンカチ、お稲荷、大黒、ササラ振りの七人で構成する。春と秋の村祭りに、五穀豊穡、悪魔退散、天下泰平、子孫繁栄を祈願して神社に奉納し、その後村内を巡して各所で舞を演じている。

演目

- フリコミ
- オカザキ
- ウタギリ
- 天狗拍子
- フリギリ
- フリコミ

フリコミの笛で万燈・高張提灯・棒使い・天狗・笛方・ササラ振り・お稲荷・大黒・カンカチ・獅子の順で入場、棒使い二人で場を清め舞に入る。ササラ振り・お稲荷・大黒・カンカチ・前獅子・中獅子・後獅子が円陣を作り笛の調べに合わせて胴太鼓を打ち鳴らして舞う。この時棒使いと天狗は円陣の外に立って舞を見守る。

出演者

世話役	石原 敏明		
幟旗・万燈	広橋 利夫 中島 英二	安田 利弘 石川 茂弘	石川 茂雄 小野 里和
高張提灯	川浦 貞彦	佐藤 守	
棒使い	村田 篤司	山木 一行	
天狗	水出 留也		
舞方	石川 七十里 石川 玲美 藤川 莉彩	金井 明 角田 大空	岩崎 英樹 松本 葉奈
笛方	石川 多賀子 田巻 恵輔 長田 友香	水出 俊久 角田 侑子	水出 ますみ 清水 美佐子

いし はら まち きよ みず 石原町清水獅子舞保存会〈石原町〉

会長 片山 紀道 【稲荷流】



◆プロフィール

当獅子舞の歴史を古老の言伝えによると、元禄時代頃から始められたと言われております。

流派は稲荷流です。演目は笛17曲・舞10種類・歌22種類ございます。

今日まで地元小祝神社の祭典はじめ、地域の諸々の行事に毎年奉納・出演してまいりました。

さて、近況状況は

地元小祝神社と高崎伝統民俗芸能祭りの奉納、出演が3～4年続いて対応できました。

今年は、久々に「第5回獅子舞大会」出演できることとなり、秋の練習を十分行い本日の発表の場に立たせてもらっております。

これからも、練習に練習を重ね発表の場をチャレンジし、先輩たちが残した伝統芸能を絶やさないよう頑張っていきたいと思っております。

◆演目

・道拍子で入場

本来は道中の道拍子ですが、本日は入場・退場で舞います。

・綱切の舞

村の鎮守様の奉納の際に鳥居の前でこの舞「綱」を切って境内に入り込む舞です。災いの「縁」を切る舞です。

・大幣の舞

須佐之男命が櫛田姫と結婚し、新居を作る際に歌った「八雲立つ」を舞、天狗が大幣をかついで踊り場を清める舞。

・花吸の舞

獅子が「花の香り」に酔いしれ喜ぶ舞です。

・お神楽の舞

家内安全・五穀豊穡を祈願する舞。

～おいとまの舞で退場

◆出演者

獅子	松本 行正	片山 明	松本 修一		
大黒	田村 悠飛	櫻井 晴仁	長谷川 礼		
カンカチ	松本 陽	長谷川 冬馬	櫻井 仁美	櫻井 真仁	
花笠	長阪 香花	松本 侑			
笛方	松田 康夫	有川 敬二	指出 金太郎	永井 和久	
	松本 弘文	松本 進	田中 泰行	指出 幸一	
	高橋 正長	土屋 嘉章	本木 一行	中村 素樹	
	松本 育代	櫻井 明子	田村 彩夏	片山 英子	
	長谷川 結花				
解説	中島 洋				
舞世話	片山 紀道	中島 洋	松本 篤二	渡辺 茂	
歌・拍子木	片山 健				
ほら貝	松本 一正	松本 秀樹			
旗手等	土屋 嘉男	山口 貴史	山口 和夫	片山 智	
	松本 博幸	上原 健嗣			
着付	渡辺 日出子	松本 トミエ	片山 英子	渡辺 紀子	
	片山 照美				
年番	田中 泰行	松本 一正	中村 素樹	本木 一行	
	松本 文弘				

かね こ す わ ど ひょう
金古諏訪土俵獅子舞保存会〈金古町〉

会長 代田 晴善 【鹿島流】



❖
プロフィール

三国街道に、金古宿が出来たのは慶長14年で、その後、宝永2年に松田、萩原、本多の3人の旗本が金古の地を3分割して領地とした。獅子舞の起源は、旗本より、それぞれ1頭づつ獅子頭を寄贈されたことが始まりで、321年前で、富士山の宝永大噴火の2年前のことである。

金古諏訪神社の秋の祭典では、役員、笛方は、袴に袴、帯刀し正装で臨みます。これは当時旗本が家臣を祭礼に参列させたため、武家風になったものである。

舞の流派は鹿島流で1つ1つの舞は短い、活気あふれ豪快、時に優雅な独特のものです。舞は14通り笛は道中笛を含め16通りあり、舞の間に歌が入ります。獅子頭は、いまだ塗り替えることなく当時のままの蒔絵の技法の細かい文様が入っています。

❖
演目

- 振込み
- 大座作(おおざさく)
- 小座作(こざさく)
- 合の手
- 奈良び
- 三拍子
- いれは三拍子
- 雀きり
- 仕舞のきり

ほら貝の合図により、万灯を先頭に舞台を回ります。位置についたところで棒突が七五三のリズムで棒の上下を打ち合い、鳥居の形を作ります。獅子は棒をくぐり振り込みます。後獅子が入ったら棒を地面に打ち付ける所作をします。獅子を守りながら舞う場まで誘導します。奈良びから仕舞いのきりまで合いの手で歌が入ります。仕舞いのきりでほら貝の合図で退出します。

❖
出演者

旗持ち	卯木 保廣	松本 昌造	
万灯	竹 淵 宏二	狩野 博幸	船木 栄造
法螺貝	田村 一郎	羽島 恒夫	
棒突き	中宮 叶人	長井 戒斗	
カンカチ	宮原 朋隆	竹 淵 大登	
歌い上げ	長井 のり子		
獅子	神官 義則	竹 淵 史紀	代田 道洋
提灯	代田 晴善	川野 健一	大平 芳裕
笛方	紫野 寛	馬場 弘行	須藤 利次
	代田 真紀	代田 幸次郎	小林 崇
	大倉 隆子	宮原 敦智	五十嵐 冴
世話人	竹 淵 祐介	土屋 美喜雄	中 沢 弘道
	宮原 克圭		

ほ ど た す わ 保渡田諏訪神社獅子舞保存会 〈保渡田町〉

会長 塚越 直樹 【稲荷流】



❖ プロフィール

保渡田諏訪神社の獅子舞は、寛永の中頃・1630年代（今から約390年前）から行われていたと伝えられ、なんと48種類もの演目を保有しているのが大きな特徴であり、群馬県下に数多く残る獅子舞の中でも、大変古い歴史があるものと伝えられております。

保渡田町には、テレビで時々放映される保渡田（ほだた）古墳群があり、八幡塚（はちまんづか）古墳、二子山（ふたごやま）古墳、薬師塚（やくしづか）古墳の3つの前方後円墳が集積する古墳群であり、古来から数多くの文化発祥の地であったと伝えられております。現在は市によって古墳群が当時の姿に復元され、土日祝日は観光バスも来るほど多くの観光客で賑わっております。

現在は、西毛広域幹線道路の工事が急ピッチで進められており、この道路が完成すると保渡田町は大きく様変わりをすると思います。

現在の保存会は、会員の減少や高齢化、子供の後継者不足という問題を抱えており、また様変わりをする保渡田町ではありますが、その中においても古くから伝わる重要無形民俗文化財の獅子舞の保存と継承をしっかりと行って行きたいと考えております。

❖ 演目

- 橋
いとまご
- 暇乞い（お礼の舞）

獅子たちが仲睦ましく踊っていると、激流が流れる深い谷に掛けられた大変危険な橋（土橋）に出くわした。ただこの橋を渡らないと前に進むことが出来ないため、カンカチと前獅子で橋を調べるために橋の中程まで行って戻ってみたり、前獅子が伏した状態で橋をみたり、また橋の両端を踏み固めてから渡り始めてみたが、怖くて橋の中央で伏してしまう。次に後獅子が出てきて橋を渡ろうとするが、やはり激流に驚いてしまい、橋の中央で伏してしまう。その間に前獅子とカンカチがどうにか橋を渡り切り、渡れる事がわかったのでカンカチと前獅子が後獅子を元の位置に戻したあと、獅子たちが揃って一緒に橋を渡り終えるという舞である。非常にテンポが遅く静かな舞であるが、激流の土橋を渡るという怖さを全身で表わさなければならないので大変難しい舞である。

❖ 出演者

カンカチ	井野 嘉則			
前獅子	角田 大空			
中獅子	塚越 英明			
後獅子	田村 則夫			
笛方	田村 泉	塚越 央美	田村 由美	
	塚越 美好	吉田 易可	矢島 忠男	
	林 重太郎	坂井 智子		
神社総代長	矢島 忠男（兼務）			
神社総代	塚越 功	桑原 勝	桑原 豊	
世話人	田村 弘	矢嶋 勝	氣賀澤 民人	
	坂井 雅史	舩田 弘彦	片平 政敏	
顧問	片平 好男			
会長	塚越 直樹			

いい づか 飯塚獅子舞保存会 〈飯塚町〉

会長 赤木 繁 【稲荷流】



プロフィール

飯塚の獅子舞は、稲荷流です。それは、江戸時代の天明年間に地元の飯玉山長泉寺の住職（第11世、12世）が寺子屋の筆子（ふでこ：生徒）たちを指導したのが、はじまりでした。

はじめは長泉寺の祈祷獅子でした。その後、筆子たちは、五穀豊穡（ごこくほうじょう）・災厄退散（さいやくたいさん）・村内安全（そんないあんぜん）を願って、村内を巡回して、飯玉神社に舞いを奉納するようになりました。寺の祈祷獅子であるとともに、神社の祭典獅子となったのです。

毎年、春は夫婦薬師如来（めおとやくしにょらい）、弁財天のお祭りに舞い、秋には飯玉神社（旧飯塚村の総鎮守）の例祭に舞いを奉納しています。かつては、飯玉様に奉納した後、村内各戸に備え付けられた赤魂提灯（あかだまちょうちん）をたよりに村内を一巡して、人びとの息災を祈念したと、古老からきいております。

演目

- ・道拍子ちゃらら
- ・大門掛
- ・棒術
- ・梵天掛
- ・道拍子ちゃらら

飯塚の獅子舞には、七つの演目（梵天掛・花吸い・三拍子・新切り・剣の舞・綱切り・女獅子がくし）そして五種の棒術が伝わっています。

七つの演目には、それぞれに意味があります。今回演じます「梵天掛」は、天地創造の神である梵天（インドの最高神ブラフマー・御幣）を中心に、世の平安を祈る舞いであり、ます。

出演者

拍子木・法螺貝	植原 孝行		
棒使い	野口 稀平	野尻 弘	
大黒天	植原 永一郎	竹本 成一	
カンカチ	北村 兼聖		
法眼	植原 弘次		
中獅子	植原 千夏		
後獅子	植原 綾人	高橋 永多	
舞い方世話人	高橋 賢一		
笛方師匠	植原 成知		
芯笛	植原 隆		
笛方（順不同）	赤木 繁	藤田 昌久	阿久津 秀行
	住谷 孝雄	井田 登代二	植原 節也
	植原 和人	植原 千紘	小池 美香
褒め言葉	植原 和人		
返し言葉	赤木 繁		
町内会役員	植原 正志		

かわ うら 川浦獅子舞保存会 〈倉渕町〉

親方 原田 昌一 【判官流】



プロフィール

川浦獅子舞は、川浦地域の氏神様である川浦諏訪神社に奉納する獅子舞で、春の祭典(4月第3日曜日)に五穀豊穡・家内安全を願い行われています。獅子舞の起源は、古老の言い伝えによると元和2年(西暦1616年)信州上田の生嶋足嶋神社より伝えられたとしています。また、天狗拍子の唱歌の中に『キョウデウマレテ イセソダチ』とあるように関西から信濃を経て神社とともにこの地に伝えられたものと思われます。

流派は、判官流であり、1人立ち3頭獅子舞で雄獅子2頭・雌獅子1頭・カンカチ・ササラの5人1組の獅子舞です。獅子頭の特徴は、前頭に鳥の羽をつけて、たてがみとして切紙を後ろに垂らす。カンカチは、烏帽子を付けて金棒で調子を整えます。ササラは花笠をかぶり女装仕立てでササラを操ります。囃子方は、笛と大洞で獅子舞を引き立てます。川浦獅子舞は、杭と縄で囲った演舞場で演舞をする、囃子に大洞が入る、庭を囲った杭に笠鉾を立てる特徴があります。

現在、継承されている舞は、御宮巡り・神楽・天狗拍子・浅切り・笹切り・三拍子・歌切り・女獅子隠しの8演舞です。

演目

● 御宮巡り

川浦公民館より神社までダシ・囃子方・ささら・獅子3頭・カンカチに笠鉾3基が連なった巡行を行い、拝殿の周囲を2回巡り、神社の正面で神社に向かい一列になり演舞を行います。

● 神楽

杭で囲った演舞場で判官(前獅子)は御幣束とササラを持ち・ササラは鈴と扇子を持ち2人で演舞をします。

● 浅切り

唱歌の中に徳川家康誕生地の岡崎城を連想させるオカザキ、オカザキという文句があります。また、『モミジチリテ クモガタツ コレノトコロガ ハナノミヤコヨ』と歌が入ります。

出演者

先導	藤牧 繁次郎	原田 昌一	
笛	原田 健作 小川 広平	中澤 孝夫	伊井 光也
判官(雄獅子)	利波 浩樹		
女獅子	簾藤 篤史		
後獅子(雄獅子)	中島 尚紀		
ササラ	原田 輝章		
カンカチ	原田 孝寿		
大洞	原田 牧雄		
スタッフ	穴戸 康弘 瀬戸 康太	原田 茂 飯塚 勝夫	原田 和典 丸山 直久

高崎市の獅子舞保存会一覧

地域	保存会名	上演期日	場所
高崎地区	阿久津町獅子舞保存会	10月15日	山名八幡宮
	飯塚獅子舞保存会	10月18日、4月4日	飯玉神社
	大八木町諏訪神社獅子舞保存会	3月下旬、10月上旬	大八木町諏訪神社
	貝沢西組獅子舞保存会	10月中旬	五霊神社
	貝沢町東組獅子舞保存会	一時休止中	
	上中居町獅子舞保存会	一時休止中	
	石原町清水獅子舞保存会	未定	小祝神社
	倉賀野田子屋獅子舞保存会	不定期	倉賀野神社
	剣崎獅子舞保存会	11月3日	八幡八幡宮
	小八木町獅子舞保存会	3月上旬、11月下旬	鏡宮神社
	下小埜町獅子舞保存会	3月下旬、9月下旬	北野神社
	下滝町獅子舞保存会	不定期	滝川小学校
	台新田町獅子舞保存会	不定期	稻荷神社
	寺尾町獅子舞保存会	一時休止中	
	並榎町獅子舞保存会	4月3日及びその前後の日	神明宮・高崎神社
	乗附町獅子舞保存会	一時休止中	
	萩原町獅子舞保存会	一時休止中	
	浜川町獅子舞保存会	一時休止中	
	羅漢町獅子舞保存会	一時休止中	
倉渚地区	川浦獅子舞保存会	4月第3日曜日	川浦諏訪神社
	水沼獅子舞保存会	10月第2土曜日	水沼神社
箕郷地区	生原北野神社獅子舞保存会	11月23日	生原北野神社
	東明屋諏訪神社獅子舞保存会	4月第1日曜日、10月第1日曜日	東明屋諏訪神社
群馬地区	諏訪土俵獅子舞保存会	10月4日	金古諏訪神社
	三ツ寺町諏訪神社獅子舞保存会	不定期	三ツ寺諏訪神社
	保渡田諏訪神社獅子舞保存会	4月中旬	保渡田諏訪神社
新町地区	新町八幡宮獅子舞保存会	4月上旬、10月上旬	新町八幡宮、於菊稻荷神社
榛名地区	駒寄一五沢諏訪神社獅子舞保存会	一時休止中	
	上神蔵平獅子舞保存会	一時休止中	
	神山下町新井田中獅子舞保存会	10月中旬	諏訪神社
	斎渡北野神社獅子舞保存会	一時休止中	
	宮谷戸獅子舞保存会	11月第1日曜日	宮谷戸諏訪神社
吉井地区	多比良神社獅子舞保存会	4月中旬	多比良神社
	多比良谷獅子舞保存会	4月上旬	阿夫利神社
	馬庭飯玉神社獅子舞保存会	4月上旬、10月下旬	飯玉神社
	奥平神社獅子舞保存会	一時休止中	
	長根神社宿獅子舞神楽舞保存会	10月中旬	長根神社

詳しい日程等は、各保存会にお問い合わせください。

協賛

協賛いただいた企業・団体の皆さま
獅子舞大会の開催にあたり、多大なるご協賛をいただき
誠にありがとうございます。

高崎解体興業株式会社

石原造園

いなほ野ファーム 矢島農菜園

生原一区イベント実行委員会

株式会社群馬総合輸送

有限会社飯野商事

有限会社江原化工

ラ・ポール税理士法人

小倉瓦店

川浦獅子舞護る有志

丸山商店

道の駅くらぶち小栗の里

有限会社大澤製作所

群馬温泉 やすらぎの湯

獅子舞大会実行委員会
事務局：高崎市総務部文化課

〒370-8501 高崎市高松町35番地1
TEL.027-321-1203
E-mail: bunka@city.takasaki.gunma.jp